

伝産男子。伝産女子。 Vol.7

～播州三木打刃物～



播州三木打刃物とは？



といった大工道具が伝産品に指定されています。詳しくは伝産協会のHPでも紹介しているので、ご覧ください。



伝産協会内
播州三木打刃物紹介ページ

株式会社常三郎

坂本 光 さん 27歳

1994年兵庫県小野市出身。ものづくりが好きで工業高校へ進学。電気関係を学ぶも、“木”の方が自分には合うのでは？と思い、京都伝統工芸大学校（TASK）の木工芸コースへ入学。2014年卒業後、株式会社常三郎へ入社。趣味は骨董市で古い鉋を手に入れて自分で直してよみがえらせること。また、鉋を見ただけで産地がわかる目利き鉋師の顔も持つ。木工出身の知識ときっちりした性格が特徴。とにかく鉋が好き、カンナ男子。～NO 鉋, NO LIFE～

株式会社常三郎 工場長

野々村 俊一 さん 36歳

1984年兵庫県高砂市出身。地元高校を卒業後、鉄工所に就職したが、ものづくりを学ぶべく、21歳で京都伝統工芸大学校（TASK）金属工芸コースへ入学し、金属工芸を学ぶ。2008年株式会社常三郎入社。30歳の時に工場長に就任。趣味はものづくり全般。休日には自分の好きな陶器の器、竹製のお箸、革の財布、木工の棚など独学で制作している。



入社のきっかけは？



TASKの卒業生が当社に就職していたんです。その先輩は女性だったので、こういう鍛冶の世界なのに珍しい会社だなと思って、やる気のある人に対して門を開いてくれて、かつやりがいもあるのではと思いました。



TASK在学時に授業の一環で社長の講義を聴きました。もともと鉋が好きであり、地元で木工関係の仕事をしたかったので、3日間の職業体験を通じて入社したい気持ちが高まりました。



坂本さんの職業体験の時のことは今でも覚えています。彼の手先の器用さと作業段取りの良さは目を見張るものがあり、我が社から絶対に逃がしてはいけないと思いました。



お二人の関係性は？

坂本さんは“後輩”という感じではなく“同僚”という感覚で、学生時代に木工を勉強されており、使い手目線のことを理解されているので、道具に関しては先輩だと思っていますし、尊敬しています。学ぶ事も多いです。



野々村さんは僕の思いを尊重してくれる上司で、良い鉋づくりで沢山のことを学ばせてもらっています。



伝産男子。伝産女子。 Vol.7

～播州三木打刃物～



常三郎の会社の魅力とは？



社長の懐の深さがあると思います。頑なに手仕事にこだわっているのではなく、作業効率や安全面の向上について提案したところ、取り入れてくださいました。三木では、鍛冶屋さんの中では家族以外を社員として雇っているところは少ないので、柔軟性のある社風はありがたいと思っています。



長い歴史がありながらも社長は自分たちの意見を取り入れてくださるので、自由度のある会社だなと思います。また鍛冶屋の中で設備も多く整っており、様々な工程に携わることができます。



かんなの製造工程は？



初めは材料作りです。鎖をのばして材料をつくります。そのあとに鋼を合わせて叩く、いわゆる鍛造工程があります。その後、熱処理や整形を行って鉋の刃の部分の形ができあがります。最後に研ぎ、台へ組み込んで完成となります。

地金と鋼を重ねて叩く鍛造工程は、常三郎の鉋が「常三郎」たる所以であり、社長が行う高度な作業。野々村さんと坂本さんもその技術をいつでも継承できるよう日々研鑽に励んでいる。



作業の難しさはどんなところですか？



鉋を繰り返し買っていていただいている方に「前の鉋と違う」と思われたら申し訳ないので、手仕事であっても感覚だけに頼るのではなく、繰り返ししっかりと厚みや寸法を測っています。1丁1丁かなり神経を使い気を抜かずに作業をするので、集中力を持続させることが難しいです。よりよい製品作りを目指して、早めに出勤して、坂本さんと打ち合わせをすることもあります。



最後に今後の目標を教えてください

鉋は大工など木工職人が使う作業道具であり、職人が使いやすい道具でなければいけないと考えています。坂本さんは木工を学んでいて、職人の気持ちがよく分っているので大変参考になります。僕たちが思う職人が使いやすい鉋を作るため2人で色々構想を練っています。常三郎の伝統と信頼を守りながら、熟練から新人まで様々な木工職人が満足するこれまで以上の鉋を提供していきたいです。

鉋は切れないと意味がないと思っています。鉋を使う方が切れ味（削りの薄さ）を競う「削ろう会」という全国大会があるのですが、優勝するくらいのレベルのものを作りたいです。過去の優勝のレベルは、細胞くらいの薄さ(2ミクロン)です。当社の鉋で記録されました。



過去の「削ろう会」で優勝した常三郎の鉋「伝統」シリーズ

株式会社常三郎

【住所】 兵庫県三木市福井字八幡谷2151

【TEL】 0794-82-5257 【FAX】 0794-82-0585

【代表取締役社長】 魚住 徹

【創業】 1947年 【従業員数】 6名 【会社ホームページ】 <https://www.tsune36.co.jp/>

【会社概要】

70年以上前から鉋の製造を行う常三郎。大鉋、小鉋、特殊鉋、洋鉋刃、細工鉋、鯉節削り器など、また顧客の要望にあわせてオーダーメイド鉋まで幅広く製造・販売している。3代目の魚住徹氏が承継後は直販の手法や海外展開などに取り組み、また鉋作りを少しでも多くの人に知ってもらおうと工場見学を実施している。

